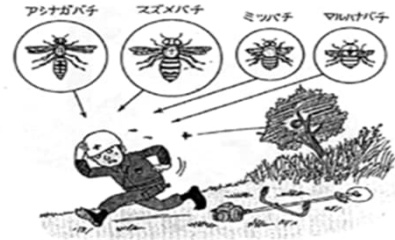


# あんぜんニュース(7月号)

## 蜂に気をつけよう!

気温が高くなってきました。この時期「7月」最も注意が必要なのが「蜂」です。全国のSJCでもケガの上位に来るのが、「刺され事故」となっています。今回はこの蜂による事故の注意点について特集しました。



### 特にスズメバチには注意しましょう!

- 蜂は、いずれも働き蜂(メス蜂)が鋭い毒針をもって人を刺します。
- 蜂に刺される一番危険な時期は、蜂の巣が最も発達し、蜂の数が多いう時期です **アシナガバチは7月~8月 スズメバチは7月~10月** となっています。
- 草が繁茂し、草刈りの必要な時期が、蜂に刺される最も危険な時期です。

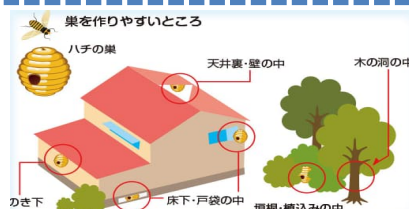
### 攻撃を受けやすい色、服装等に気をつけよう!

- スズメバチは、黒いものに最も激しく反応し、攻撃を加えます。
- 蜂は、香水、体臭等に対して、敏感に反応します。
- スズメバチは、衣類だけでなく、黒い長靴、カメラ等も攻撃します。
- 野外でジュースを飲むときも蜂に注意します。飲んでいるとき、近寄ってきて缶の中にもぐり込み、口などを刺されることもあります。



### ハチが巣を作りやすい場所を作業前にチェックしましょう!

- 雨風をしのげる場所
- 外敵や人の出入りが少ないところ
- エサとなる虫や花が周囲に多いところ
- ある程度の暗さや陰があるところ



#### 建物の周り

- 軒下、ベランダの天井の隅
- エアコン屋外機の裏や中のすき間
- 戸袋、雨戸の箱、シャッターの内側
- 物置の天井や屋根裏
- 外壁のひびや穴、屋根と壁のすき間

#### 自然の中

- 木の枝や幹のくぼみ、樹洞
- 土の中や木の根元の穴
- 石垣や崖の割れ目、岩のすき間
- ★特にスズメバチなどの巣は見た目ではわかりにくいのが特徴です。



# “蜂”災害を防ぐには

蜂による被害をなくすためには、先ず刺されないことが基本です。蜂に刺されないためには、巣に近寄らない、巣に振動などの刺激を与えない、巣に近くでは作業しない、蜂の殺虫スプレーの携行が大切です。蜂刺されのおそれのある場所で作業する場合には、服装の見直しや救急用具の備え付けなども行うことも大切です。



防蜂網



抗ヒスタミン軟膏

毒吸引器



エピペン®

## 蜂に刺された時の症状

〈局所症状〉\*刺された所を中心にその周りに症状が出る。(大きく赤い腫れ、痛みがゆい)

〈全身症状〉\*刺された所だけでなく、体中に症状があり、嘔吐、発疹、痙攣等が出ます。全身症状になる場合は、アナフィラキシーショックの疑いが濃厚です。(蜂毒アレルギー)アナフィラキシーショック(即時型アレルギー反応)は大変危険です。

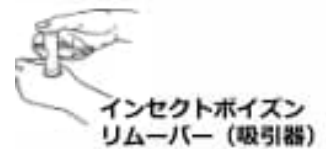
### 【蜂毒アナフィラキシーショック】

アナフィラキシーショックは、**一般的に2回以上蜂に刺された場合に発症**するとされています。蜂に初めて刺された時は、刺された部位に軽い痛みや腫れなど局所症状が起こりますが、症状は数日で引きます。この時、蜂毒に対してアレルギーを持つ人(抗体をつくる人)と持たない人がいます。蜂毒アレルギーを持たなかった人は、2回目以降刺された場合、初回と同様の軽い痛みや腫れなどの局所症状が少し強めに現れます。また、2回目以降に蜂毒アレルギーを持つ可能性もあります。**蜂毒アレルギーを持った人は、2回目以降刺された場合、8~9割の人は、1回目と同様の局所症状が前回より少し強めに現れます。**しかし、1~2割の人はアナフィラキシーの症状が現れます。このうち、さらに**数パーセントの人は、急激な血圧低下や意識障害を起こし、生死に関わるような危険なショック状態であるアナフィラキシーショックに陥ります。**なお、一度蜂に刺された時から、次に蜂に刺されるまでの期間が短いほど、アナフィラキシーショックになる可能性は高くなると言われています。

## 蜂に刺されたときの処置

蜂に刺されたときは、次のような処置が必要です。

- (1) 刺された場所から離れ、速やかに毒吸引器等で毒を絞り出す。
- (2) 毒の周りを遅くするために、患部を冷水で冷やす。
- (3) 赤く腫れはじめたところに、抗ヒスタミン軟膏を塗ります。
- (4) 手や足を刺された場合は、心臓に近い方を止血ゴム管等でしばります。
- (5) 初期症状として、**発疹、流涙、せき、嘔吐、下痢等の症状**が見られる場合は、**一刻も早く医師の手当てを受ける**ようにします。
- (6) 患者を移送するときは、決して背負わないで**担架**で救急車まで移送します。  
※動くことで毒の周りが早くなるため、自力歩行はさせない。



インセクトポイズンリムーバー(吸引器)

<出典:林業・材木製造業労働災害防止協会より>

現場に入る前に危険予知!指差呼称で安全確認ヨシ!

